



山本 良一

## 環境主義市場経済の手法を窮める

# エコフィシエンシーとエコデザイン技術特別研究会 RC-17

### 1. 代表幹事

山本良一（東京大学 生産技術研究所 教授）  
 小田克郎（東京大学 生産技術研究所 助教授）  
 中原秀樹（武蔵工業大学 環境情報学部 教授）  
 益田文和（東京造形大学 教授）  
 鈴木淳史（横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授）  
 木俣信行（鳥取環境大学 教授）

### 連絡先

山本良一  
 Tel : 03-5452-6303  
 Fax : 03-5452-6305  
 e-mail : yamamoto@iis.u-tokyo.ac.jp

## 2. 主旨

本研究会は、「**環境に配慮した新しい物作りと持続可能経営**」を環境効率（Eco-efficiency）とエコデザイン（Eco-design）の見地から徹底的に考察する研究会として1999年に発足し、略称を**SPEED**（Special Project on Eco-Efficiency and Eco-Design）としております。

2003年48社の御参加を頂きました。

昨年度は、滋賀県の長浜環境ビジネスメッセの特別展示「ファクター4」のお手伝いをし、また研究会の活動の成果を日科技連出版社より「**環境技術革新の最前線**」として出版致しました。本会の目指すところはエコマテリアル、エコプロダクツ、エコサービスの社会への大量普及を主軸とする“**環境主義市場経済**”により日本経済再生と産業・経済のグリーン化を同時に達成しようとするものです。また、“**製品と経営**”のエコブランド化をはかり国際競争力を向上させ、同時に環境技術によって国際貢献しようとするものであります。

そこで2004年度は、以下の課題を目的とします。

- (1) **製品・サービスシステム／エコサービス**（製品販売から機能・結果販売へ）について、これまでの研究会での十分な討論をふまえた詳細な研究書を刊行する。
- (2) **持続可能経営**についての様々な手法を、持続的価値創造のためにどのようにしてダイナミックに統合していくのかについて取りまとめる。
- (3) **エコデザイン**についての様々な手法を、持続的価値創造のためにどのようにしてダイナミックに統合していくのかについて取りまとめる。国連環境計画（UNEP）で推進している2004年発行予定の**エコデザインマニュアル**の改訂作業に研究会の意見を反映させる。
- (4) **循環型ビジネス**を含む**環境ビジネス**全般についての日中シンポジウムを中国で開催する（希望会社のみに参加して頂きます）

## 3. その他

年会費 : 20万円

定員 : 2～3名／社

運用方法 : (1) 年5回程度の定例研究会を中心にして、上記の4課題について討論し、成果を様々な形で取りまとめ公表する。

(2) 定例会の他に軽井沢あるいは箱根で「**環境主義市場経済**」について**合宿形式の短期集中勉強会**を開催する。